

2021-10-23

大阪府立大学 女性学研究センター 第25期女性学講演会

「計量分析から読み解くジェンダーと家族」

結婚・離婚と性別格差

田中 重人 (東北大学)

<http://tsigeto.info/21y>

略歴

- 大阪大学人間科学研究科 社会学専攻
博士後期課程 退学 (1997 年)
- 大阪大学人間科学研究科 社会学専攻
助手 (1997–2001 年)
- 東北大学文学研究科 言語科学専攻
日本語教育学専攻分野 (2001–2019 年)
- 東北大学文学研究科 日本学専攻
現代日本学専攻分野 (2019 年–)

共同研究など（調査以外）

- 日本社会学会 データベース委員会
(2001–2012)
- 東北大学法学研究科
21世紀 COE / グローバル COE プログラム
(2003–2013)
- 東北大学「社会にインパクトある研究」
E-1 心に豊かさを灯す社会の創造
(2015年–)

発表のアウトライン

- 家族と不平等
- 近年の離婚の増加
- データ分析と結果
- 議論

経済的分配装置としての家族

「生活保持の義務」は、最後の一片の肉、
一粒の米までをも分け食らふべき義務

中川善之助 (1928→1976) 「親族的扶養義務の本質」
『法学セミナー』 253: 190–207.

法は家庭に入らず

参議院法制局 (2020) 「法格言」

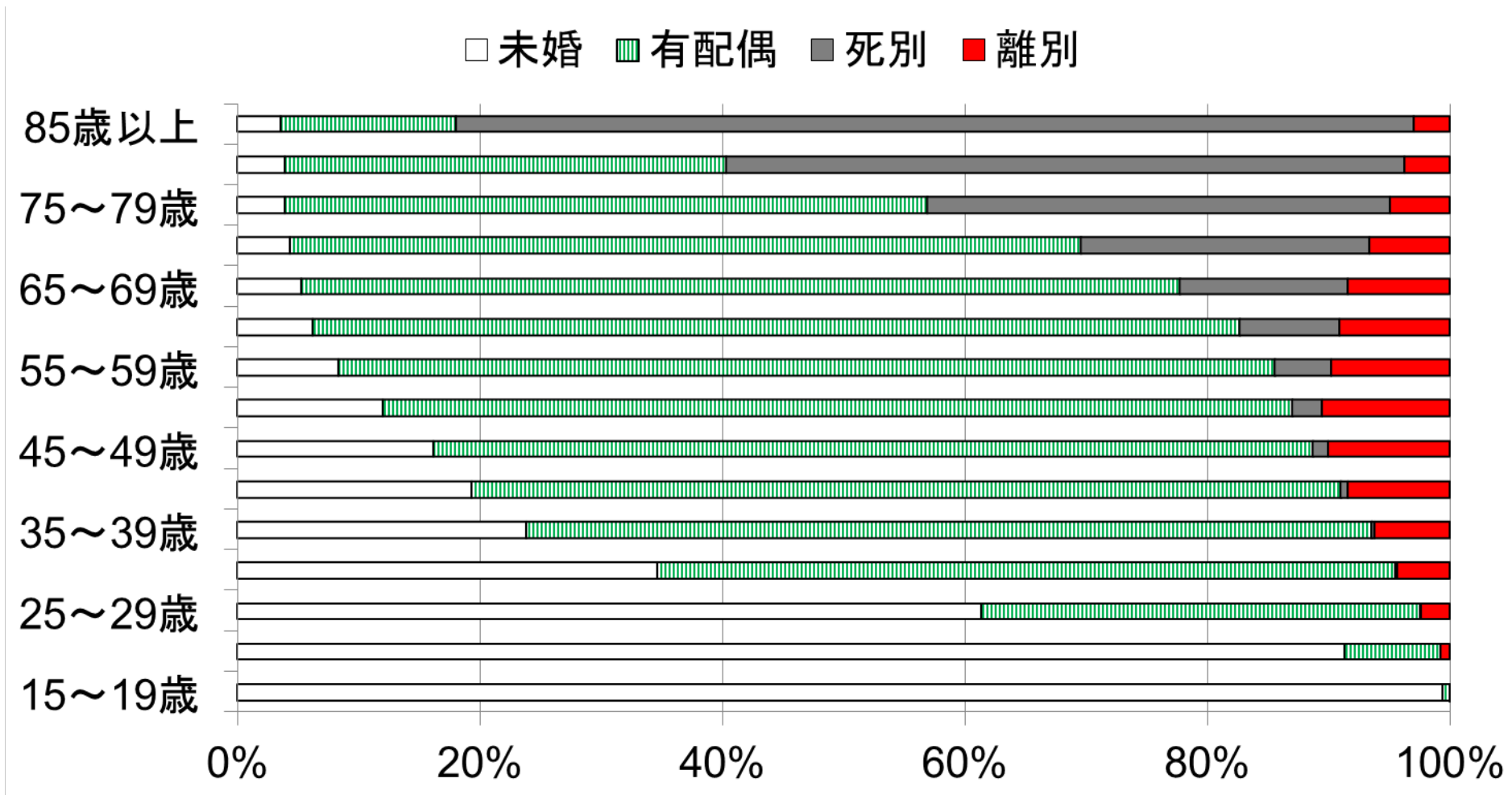
<https://houseikyoku.sangiin.go.jp/column/column067.htm>

→ 関係を解消するとき／した後はどうなるのか？

近年の日本社会における変化

- 未婚者の増加
- 離婚の増加
- 死別の高年齢化

女性の年齢別婚姻状況



2015年国勢調査 < <https://www.e-stat.go.jp/dbview?sid=0003410382> >

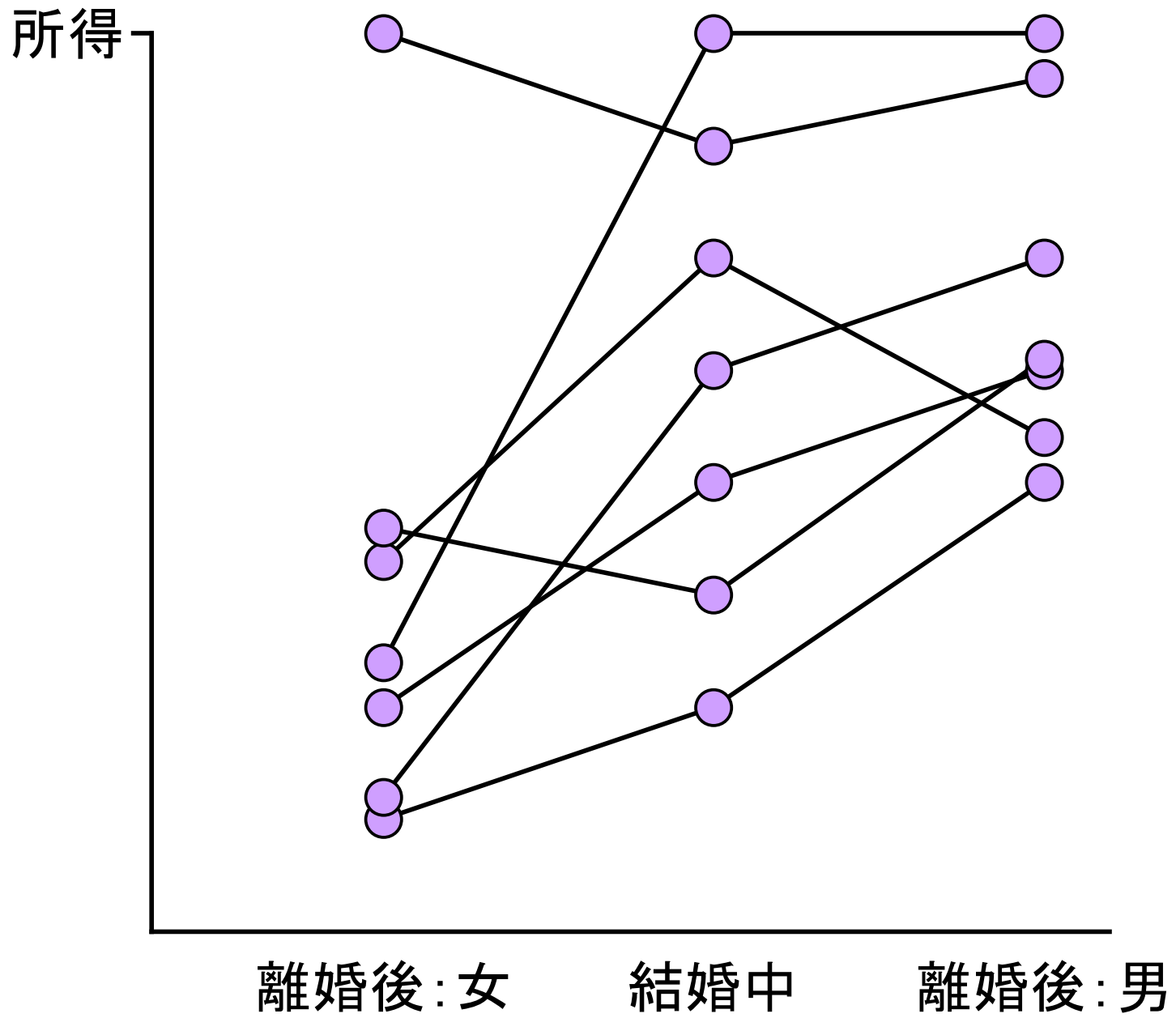
NFRJ とは

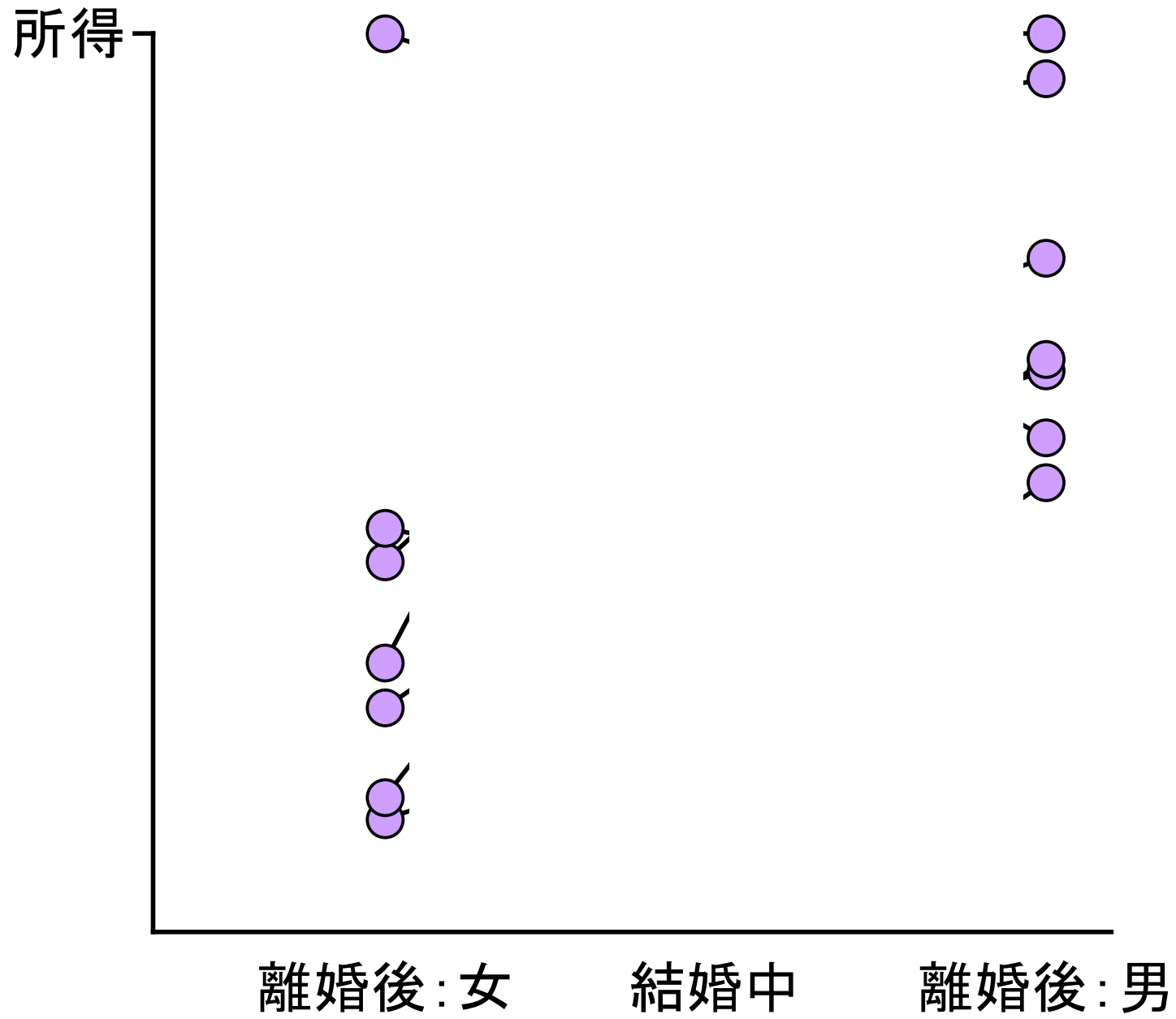
日本家族社会学会 「全国家族調査」
(家族についての全国調査) <<http://nfrj.ofg>>

1. NFRJ98 (1999 年実施)
2. NFRJ03 (2004 //)
3. NFRJ08 (2009 //)
4. NFRJ18 (2019 //)

データの特徴

- 規模の大きさ
- 対象者： 28-72 歳
(未婚・死別が少ない)





等価所得とは

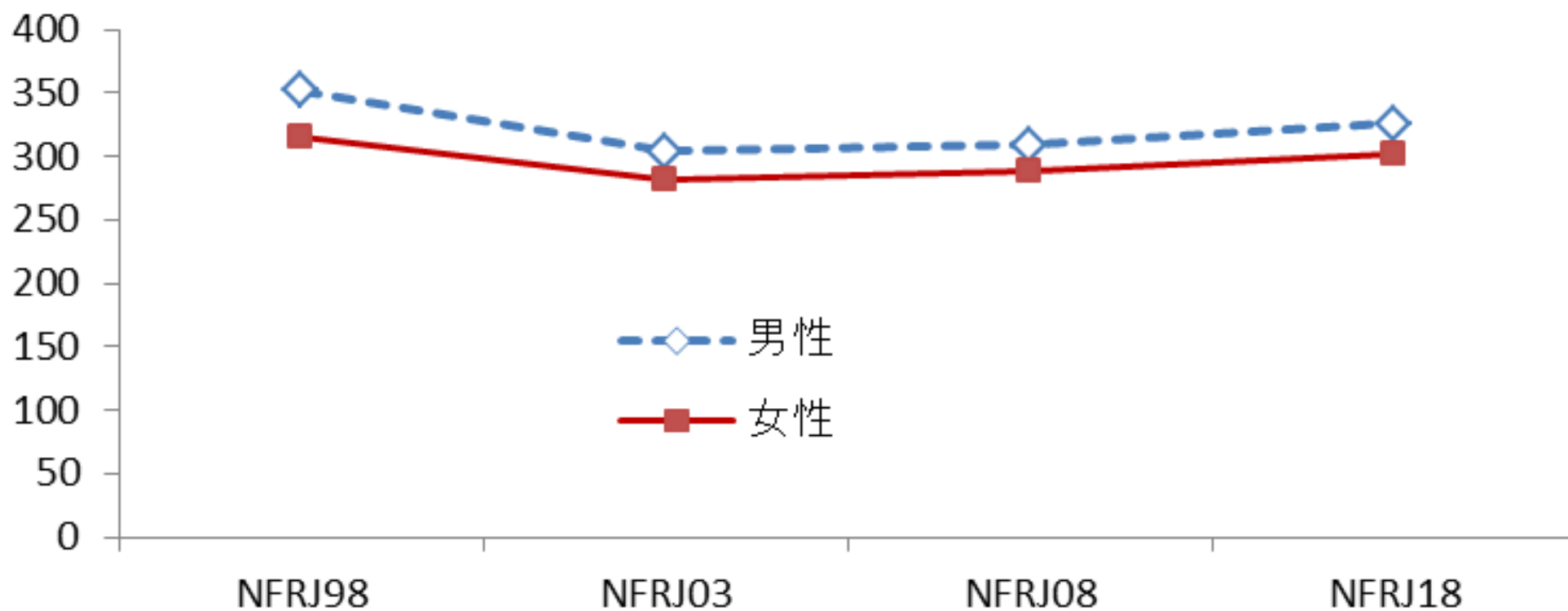
Equivalent income

$$\frac{\text{世帯年間収入}}{\sqrt{\text{同居人数}}}$$

※ 通常は可処分所得と世帯人数であるが……

等価所得の男女差

(万円)

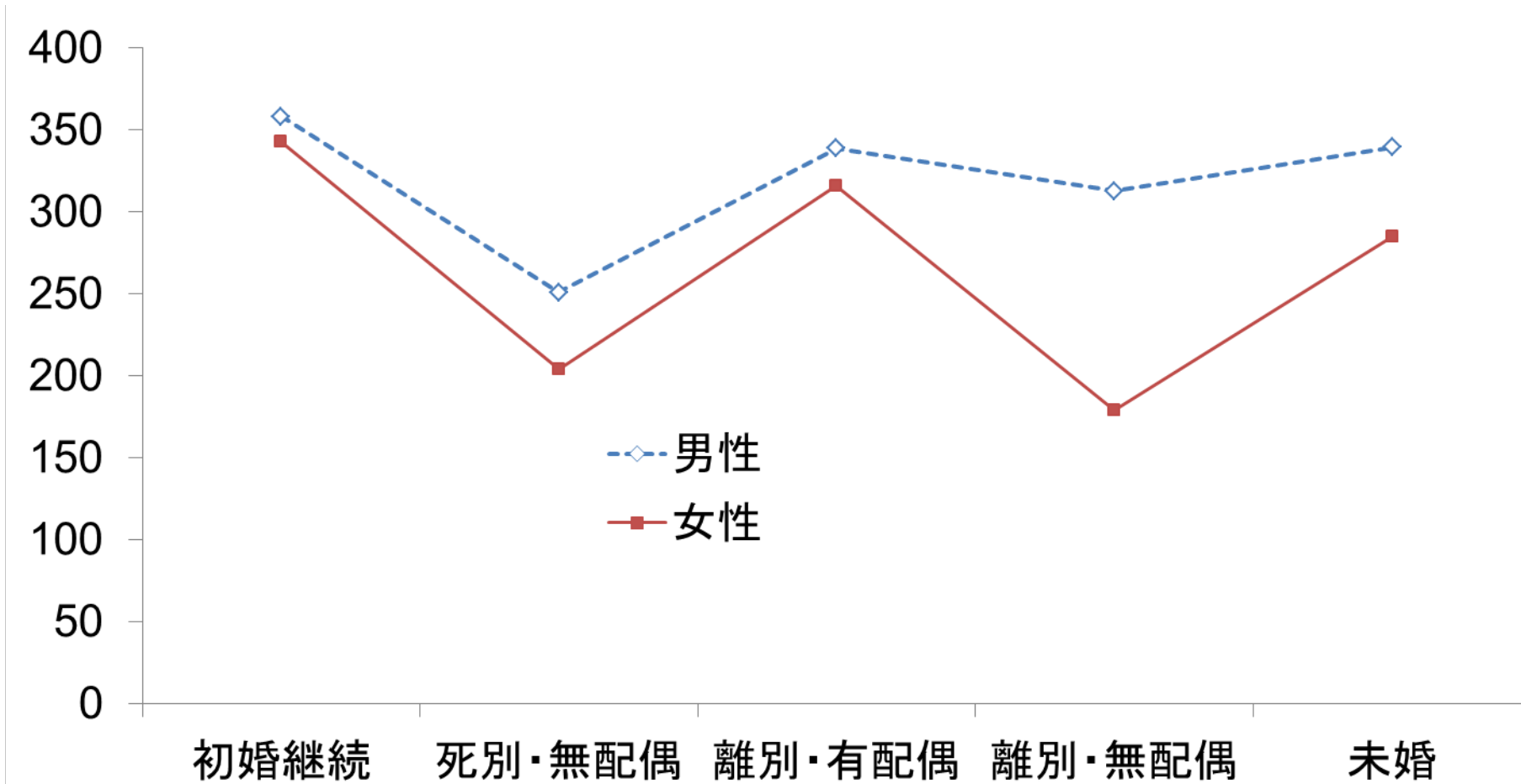


婚姻履歴

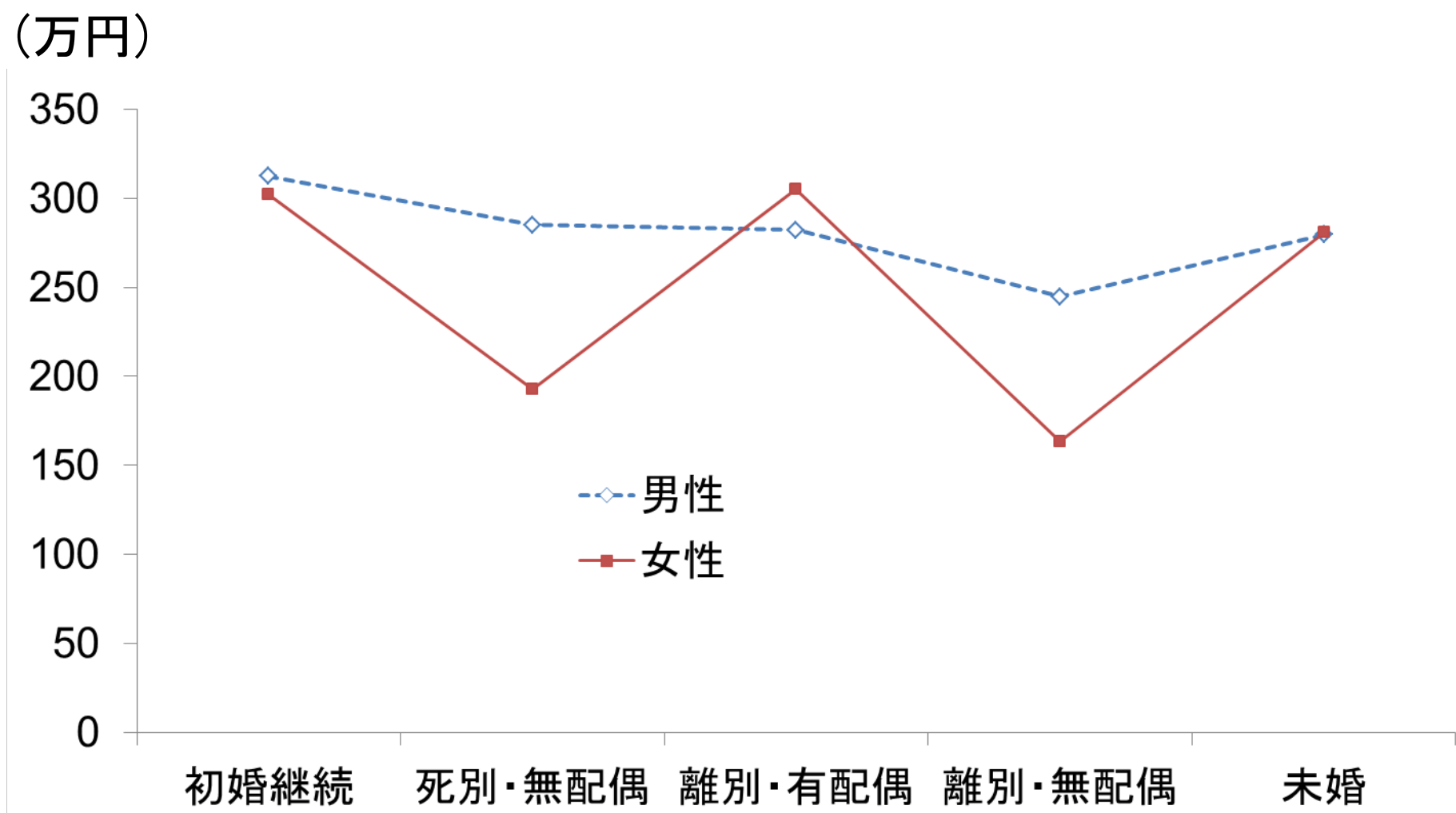
1. 未婚
2. 初婚継続
3. 離別 有配偶
4. 離別 無配偶
5. 死別 有配偶 (少ないので結果省略)
6. 死別 無配偶

NFRJ98

(万円)

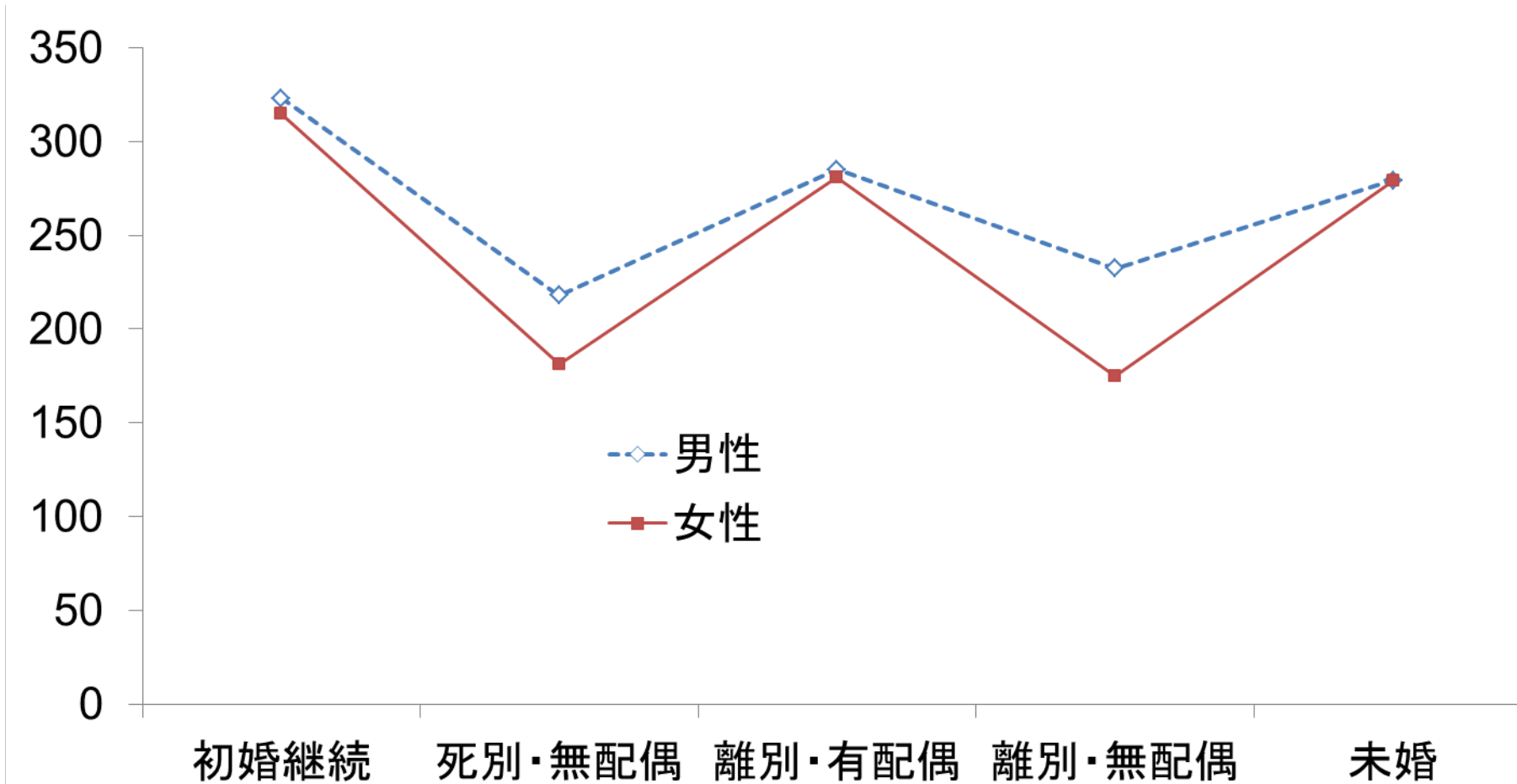


NFRJ03



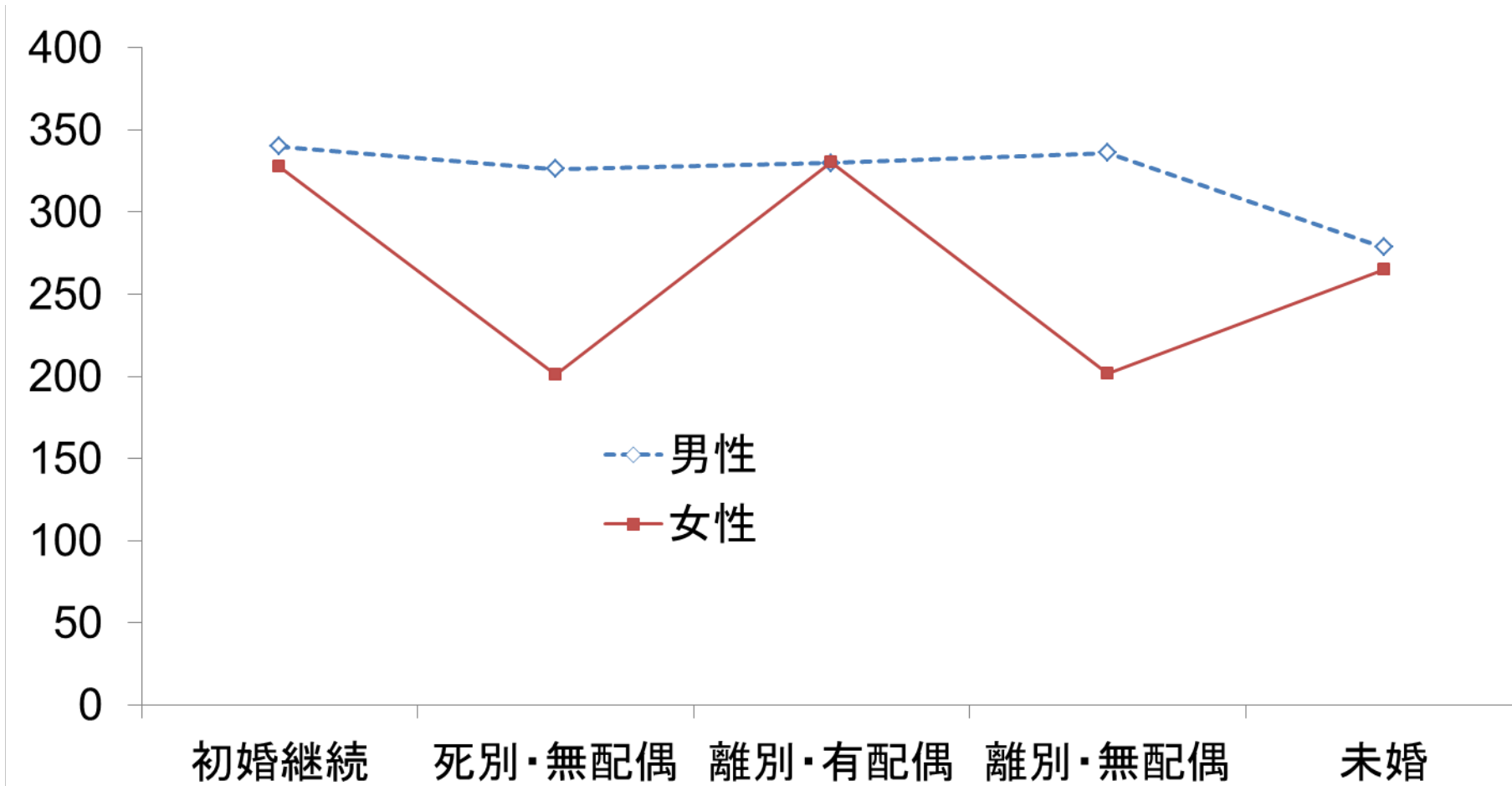
NFRJ08

(万円)

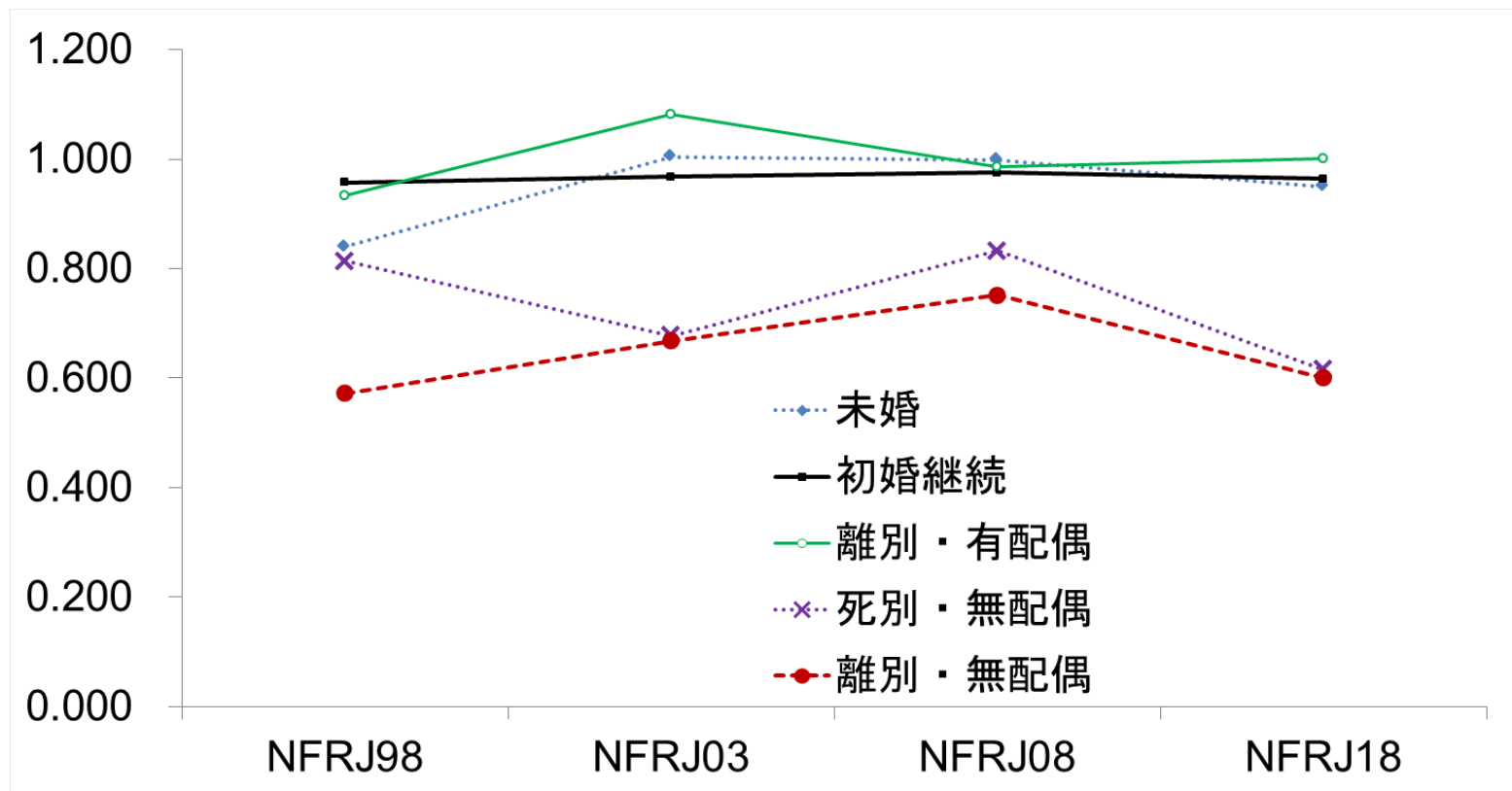


NFRJ18

(万円)



等価所得の性別格差 (女/男)



- 離別無配偶で女性が25–40%低い
- 未婚や初婚継続では差はほとんどない

重回帰分析

離婚経験のある回答者だけに限定

人数：

NFRJ98: 416

NFRJ03: 449

NFRJ08: 408

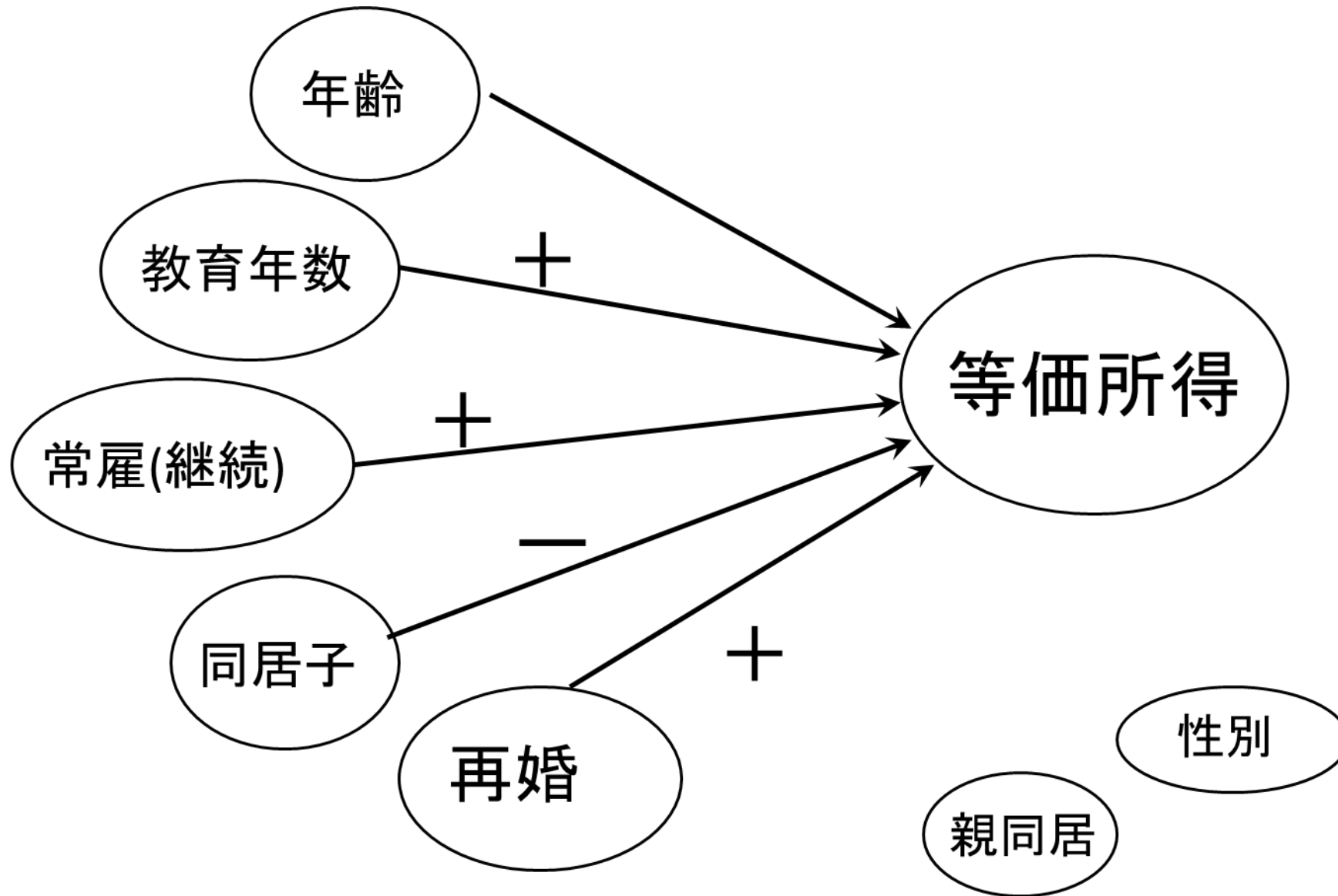
NFRJ18: 292

独立変数：

- 性別
- 年齢
- 教育年数
- 配偶者の有無
- 常時雇用の継続 (NFRJ18 では現職のみ)
- 同居子の有無 (前婚の子のみ)
- 世帯構成 (単身か; 親同居)

等価所得を規定する要因

- 学歴が高いほど高い
- 再婚していると高い
- 常時雇用を継続していると高い
- 同居子がいると低い



結果のまとめ

離別者には大きな男女格差

→ **離婚が増えると格差が拡大**

未婚者・初婚継続者には男女格差はみられない

→ **未婚化で性別格差は拡大しない**

いったん結婚したあと 離婚した場合の男女差が大きい

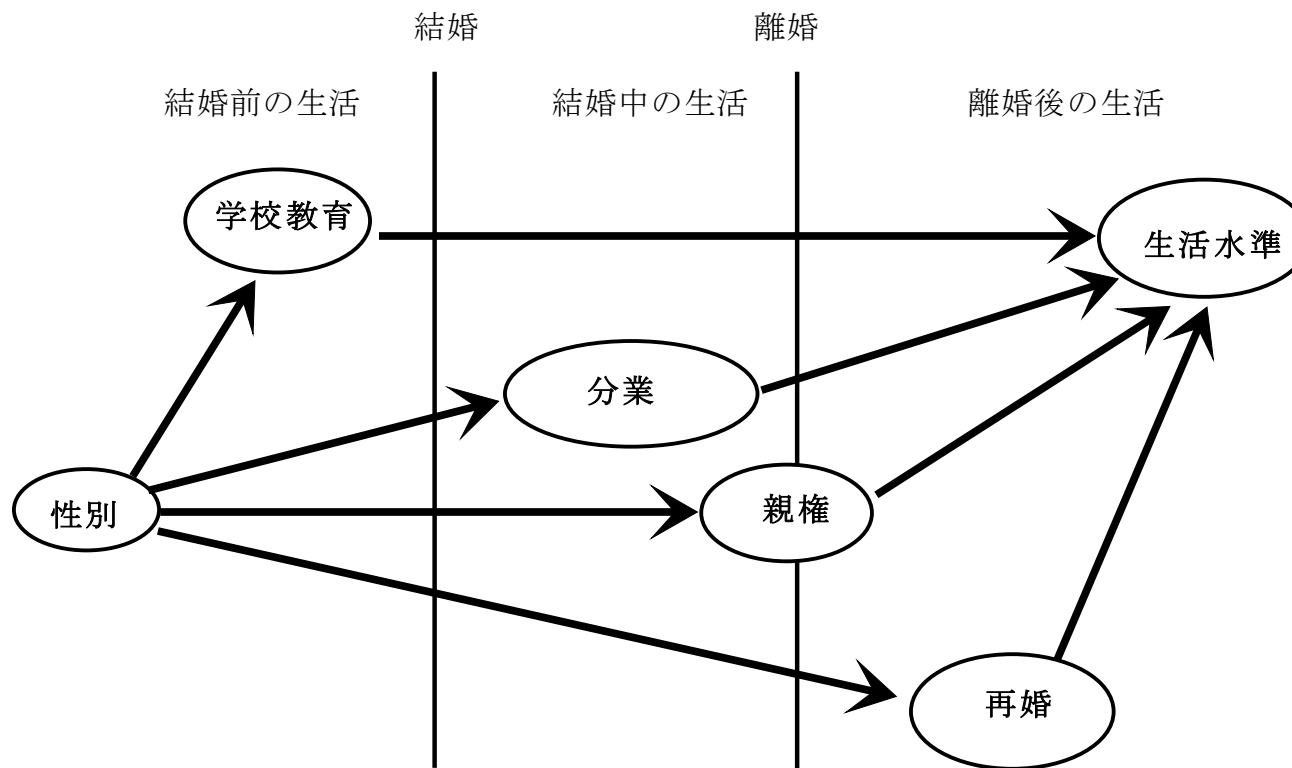
(結婚しなかった人々には、はっきりした性別格差がない)

結婚と経済格差

結婚は所得再分配の機能を持つ

→ 不安定化すると格差が拡大

4つの要因と結婚との関連



- 結婚・出産・育児によるキャリア中断
- 離婚時に母が子を引取ることが多い

それで?

キャリアの中断と子供の養育負担が
離婚後の女性の経済状態を悪化させる

→ それは常識では?

母子世帯の貧困リスク

→ 戦後の社会政策の主要対象

なぜ解決しないのか

- 問題があることは知られている
- 実際に政策対象になっている
- しかし格差は大きい

何が「問題」なのか

- 問題になっているのは「貧困」である
- 離婚による「不平等」はあまり問題になっていない
(法学等の一部を除く)

家族は「平等」であるべきか？

- 伝統的な家族制度ではどうだったか？
- 近代的な家族制度では？

家族制度と平等イデオロギー

「平等」の2側面

- 家族 (の中で) は平等であるべき
- 家族 **制度** は **社会的** 平等に貢献すべき

→ **前者のみの拡張?**